



キッズサポート
にじいろ

令和5年10月号



「手でふれてみる世界」

今回は映画のお話です。

もし、目が見えない方が芸術を楽しむとしたら？

音楽…音を楽しむ事なので目が見えなかったとしても耳で楽しむ事は出来ます。

映画…最近では音声ガイド（HELLO! MOVIEアプリ対応）がある映画も増えていますが、全てを網羅している訳ではありません。

演劇…ガイドが付く物もありますが数は多くありません。

美術…この分野が一番難しいですね。造形・美術は基本的に目で見て楽しむ事が多いので、視覚障害がある方にはハードルが高くなってしまいます。

「手でふれてみる世界」という映画は、視覚障がいがあるイタリア人の夫婦が作った「オメロ触覚美術館」を取り上げたドキュメンタリー映画です。

この作品の中で印象的なのは、視覚障がいがある方が彫刻などの作品を手に触れた時に「見る」と言う表現を使っている事です。彼らの中では触れた物が実際にどの様に感じていて、触れた物のイメージがどう構築されていくのか、とても興味深いと感じています。これも、先天的に視覚障がいがある方と途中で視覚を失ってしまった方ではきっと違うのだと思います。

視覚・聴覚・触覚・嗅覚・味覚など五感と呼ばれる感覚は、人によって感じ方のバランスや強さは違います。その感覚の違いを共有する事や数値化が出来る訳では無いので、この様なドキュメンタリー映画を通して、少しでもその人たちの「世界にふれる」事が出来るのは貴重な経験なのだと考えています。

HELLO! MOVIEアプリ（音声ガイドアプリ）

<https://hellomovie.info/>

「手でふれてみる世界」

<https://le-mani.com/>

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

<https://no-ma.jp/>

児童通所課 嵯峨憲司

キッズサポートにじいろ狭山 TEL：04-2935-4294
キッズサポートにじいろ入間 TEL：04-2968-6972

Instagramでも活動の様子が見られます！

#メルフィスの小窓
#キッズサポートにじいろ で検索！



(Instagram) (ホームページ)

キッズサポートにじいろ 活動報告

にじいろ入間狭山活動紹介



9月18日(月)にじいろ合同運動会を開催しました。前年まではZOOMでのオンラインで行なっていましたが、今年にはじいろ狭山で子ども達同士での交流を行いながら開催する事が出来ました。運動会の種目は、選手宣誓に始まり、玉入れ、綱引き、お菓子取りを行ないました。みんなそれぞれ頑張り、応援しながら得点を競い合いました。接戦の上今年は赤チームが優勝しました。



新入職員紹介



吉岡詩織
(作業療法士)

10月からにじいろ入間配属となりました。
専門職として様々な視点から子どもたちの成長に携わっていきたいと思います。
宜しくお願いいたします。



教材紹介

～教材名～ 落としてぽとん

ねらい: 目と手の協応動作
指、手で押し込む力
因果関係の理解

使い方: フィルムケースを手で持ち、穴の形に向きを合わせて、手もしくは指で押し込みます。

工夫したところ: 入れる穴をフィルムケースぴったりにすることでぐっと押し込む感覚を楽しめるように意識しました。
フィルムケースの中に鈴を入れ、また、箱の中に鉄板を入れたことで入ったことが音で分かるように意識して作りました。

